

公益財団法人 旭硝子財団

2018年度 日本人奨学生募集要項

1. 旭硝子財団の奨学助成概要

旭硝子財団は、人類が真の豊かさを享受できる持続可能な社会および文明の創造に寄与することを目的とし活動しています。旭硝子財団の奨学助成は、産業、経済及び社会の進歩、向上を担う優れた人材を育成するために、優秀な大学院修士・博士課程の学生に、返済義務のない給与奨学金を支給し、指導助言も提供するプログラムです。

2. 奨学生の資格要件

- (1) 2018年4月現在、修士(博士前期)課程 第1学年あるいは博士(博士後期)課程 第1学年に在籍する日本人学生(医学、歯学、獣医学、6年制薬学系の専攻を除く)
- (2) 品行方正、学術に優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者
- (3) 独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに取り組む者
- (4) 持続可能な社会の実現に向けて高い志を有する者
- (5) 博士課程の学生について、2018年4月以降、当財団の奨学金支給期間中は、企業及び他団体等(除く、日本学生支援機構)等から奨学金を受けていない者(修士課程の学生は併給可能です)
※社会人学生は原則応募いただけませんが、学生の身分を保有したまま、大学などから報酬を受ける場合は実働時間及び報酬額によって応募可否が変わります。都度お問い合わせ下さい。
- (6) 2018年7月11日(水)に都内で開催予定の奨学金授与式に参加できる者

3. 採用予定人数

修士(博士前期課程) 15名、博士(博士後期課程) 15名

＊ 推薦依頼大学院から、**推薦枠(別表)**に基づき推薦された学生より選考します。

＊ 人文・社会科学系、自然科学系別の採用枠は設けず、推薦された応募者全体から修士・博士各15名を採用予定です。

4. 奨学金支給内容

(1) 支給額

修士 月額 4万円、博士 月額 10万円

(2) 支給期間 2018年4月以降、在籍する大学院の正規の修学期間

ただし、修士課程は2年間、博士課程は3年間を限度とします。

(3) 支給方法 原則、毎月一定日に銀行振込にて支給します。

当財団の奨学金は、全額を支給するもので、返還義務はありません

また、出捐母体の旭硝子株式会社(AGC株式会社)への付帯義務を負うものではありません。

5. 応募の要領

＊各推薦依頼大学院からの案内に従って、応募して下さい。(学生本人からの直接の応募や質問は受付できません)

6. 奨学生の選考と採用内定／採用

(1) 選考方法

奨学生の資格要件に基づき、書類選考により決定します。

(2) 結果通知および授与式

応募者全員の選考結果を、6月中旬に各推薦依頼大学院に通知します。採用内定奨学生は当財団が別途指定する所定の手続きをお願いします。2018年7月11日（水）の奨学金授与式にて採用通知（証書）を授与しますので、採用内定奨学生は必ず出席して下さい。

7. 採用後の奨学生の義務

- (1) 奨学金支給期間中は、在籍大学院で所定の学業、研究に精勤すること
- (2) 奨学金支給期間中の毎年9月末頃に活動報告書を、毎年3月末頃に活動報告書と成績証明書等を提出すること
- (3) 奨学金支給期間中は、止むを得ない事情のないかぎり、当財団指定の行事に参加すること（旅費は当財団が負担します。年間2回程度を予定しています）
- (4) 学籍、修学状況や生計の変化が生じた際には、速やかに当財団に報告すること

8. 個人情報の取り扱い

ご提出いただいた応募にかかわる一切の個人情報は、選考に関する手続き（審査と当財団からの連絡）のためのみに使用するという当財団の方針に同意した上でご応募ください。

（別表）2018年度 日本人奨学生 推薦依頼大学院と推薦枠

推薦依頼大学院	推薦枠			
	人文・社会科学系		自然科学系 (医学、歯学、獣医学、6年制薬学系を除く)	
	修士	博士	修士	博士
北海道大学	1	1	1	1
東北大学	1	1	1	1
千葉大学	1	1	1	1
東京大学	1	1	1	1
東京工業大学	—	—	1	1
一橋大学	1	1	—	—
慶應義塾大学	1	1	1	1
成蹊大学	1	1	1	1
東京理科大学	—	—	1	1
立教大学	1	1	1	1
早稲田大学	1	1	1	1
横浜国立大学	1	1	1	1
長岡科学技術大学	—	—	1	1
名古屋大学	1	1	1	1
京都大学	1	1	1	1
京都工芸繊維大学	—	—	1	1
大阪大学	1	1	1	1
神戸大学	1	1	1	1
九州大学	1	1	1	1
九州工業大学	—	—	1	1

《よくいただくお問合わせ》

Q 1. 応募資格に修士第1学年、博士第1学年とありますが、2学年（3学年）生は応募できますか？

A. 2018年4月1日現在で、修士第1学年及び博士第1学年の方のみが対象ですので、ご応募いただけません。

Q 2. 入学が4月ではなく、秋季入学でも応募できますか？

A. 2018年4月1日時点で修士課程の第1学年又は博士課程の第1学年に在籍する場合は、秋季入学の方も応募可能です。ただし、2018年4月1日より以前に遡及した給付は致しません。

Q 3. 「持続可能な社会の実現に向けて高い志」として、具体的に求められるものはありますか？

A. 現在取り組んでいる研究テーマが、必ずしも直接「持続可能な社会の実現」を目指していなくても結構ですが、そのような活動の実績や今後に向けての抱負は、選考の対象となります。

Q 4. 収入に関する証明書は誰のものを出せばよいでしょうか？

A. 応募者の家計を支えている方、全員のものをご提出下さい。応募者本人がアルバイトをし、学資としている場合は、応募者の証明書も提出下さい。収入の有無にかかわらず、父母の状況は必ずご記載して下さい。

Q 5. 在籍大学院の学内奨学金も検討していますが、博士課程での奨学金の併給はできますか？

A. 学内奨学金は、大学院やプログラムにより目的・性質が異なるため、当財団は大学と協議し別途基準を定めます。応募の可否は大学に確認して下さい。

推薦依頼大学院へのお願い

1. 推薦受付方法

当財団の推薦依頼大学院は、募集対象の学生に適切な方法で周知の上、適正な選考を経て、別表の推薦枠数以内の学生を推薦して下さい。

推薦受付期間中に、当財団が指定するWebサイト【奨学生推薦フォーム】より、募集要項、提出書類の注意事項、下記の書類の指定書式をダウンロードし、記載後にPDFに変換の上アップロードして下さい。

応募方法の詳細については当該サイトに記載されています。（郵送および学生本人からの直接の応募は受付できません）

<提出書類>

1. 奨学金申込書（指定書式；学生と推薦依頼先担当部署が記載して下さい）
2. 願書（指定書式；学生が記載して下さい）
3. 研究計画書（指定書式；学生が記載して下さい）
4. 指導教官推薦書（指定書式；在籍する大学院の主たる指導教官が記載して下さい）
5. 学業成績証明書（直近に取得した学位の成績証明書で、「優」又は「A」以上の比率を欄外に記載のこと）
6. 収入に関する証明書（家計支持者全員分の直近の所得証明書や源泉徴収票等）

※「提出書類の注意事項」をご参照の上、提出書類を記載して下さい。

※ 【奨学生推薦フォーム】では一時保存ができませんので、応募者 1 人につき上記の提出書類すべてが揃ってからアップロードして下さい。

※ 応募内容について、当財団より問合せをする場合があります。

2. 推薦受付期間

2018年3月1日（木）～2018年4月25日（水）

4月25日（水）までに、アップロードされた応募のみ受け付けます。

3. 選考結果

応募者全員の選考結果を、6月中旬に各推薦依頼大学院に書面で通知いたします。

通知後、速やかに応募者にお伝えいただき、採用内定奨学生は当財団が別途指定する所定の手続きを促して下さい。

手続き後、採用奨学生には、2018年7月11日（水）の奨学金授与式にて採用通知（証書）を授与します。

4. 奨学金支給期間中の奨学生の修学状況確認について

奨学生の学籍、修学状況や生計の変化が生じた際に、当財団より問合せをする場合があります。

5. 問合せ先

公益財団法人 旭硝子財団 奨学助成担当

E-mail scholarship@af-info.or.jp 電話03-5275-0620

以 上

2018 年度採用 奨学生 提出書類の注意事項

■全書類の共通事項

- ・大学院担当部署の指示に従い、以下の注意事項をご参照の上、提出書類に記載して下さい。
- ・記載後、大学院担当部署に提出して下さい。
- ・各書類の最初にある【区分】は、大学院担当部署が記入しますので、記載の必要はありません。
- ・記入欄が足りない場合は、記入欄を追加、拡張してかまいません。

■奨学金申込書 兼 学生推薦書（指定書式）

- ・応募者は、表記内容を確認し、自署の上、大学院担当部署に提出してください。
- ・大学院担当部署は承認をお願いします（この申込書にて応募者の在籍を証明していただきます）。

■願書（指定書式）：5 枚以内で記載してください

1. 応募者本人の現在の状況

- ・メールアドレスは日頃連絡がつくもので、scholarship@af-info.or.jp からのメールの受信が可能なものを記載して下さい。
- ・顔写真は、鮮明で顔が判別できるものを挿入して下さい。
- ・指導教官が複数いる場合は、推薦書を記載する主たる指導教官をお願いいたします。

2. 学歴

- ・高校以上のこれまでの学歴をすべて記載して下さい。
- ・留学等で複数の学校等に在籍した場合は記入欄を増やして記載して下さい。

3. 職歴

- ・就業歴のある方は、これまでの職歴をすべて記載して下さい（除く、アルバイト）。
- ・現在、会社に籍がある場合はご応募いただけません。

4. 資格・検定・特有技能等

- ・留学生の方で日本語検定をお持ちの場合は、この欄に記載して下さい。

5. 家族の状況

- ・選考では、「経済的援助」の必要性についても審査します。公正な選考が行われるよう、正直に申告して下さい。
- ・両親、兄弟姉妹とともに、家族以外の家計支持者も必ず記載して下さい。
- ・既婚者の場合は、配偶者・子女も記載して下さい。
- ・就学している兄弟姉妹については必ず在籍校と学年を記載して下さい。
- ・扶養家族がいる場合はその旨記載して下さい。
- ・父母死亡（離別）のときは、その年月を備考欄に記載して下さい。
- ・年収（税込）は直近のもので、提出される収入に関する証明書に記載された金額を記載して下さい。
- ・2018 年の年収に大幅な変動が見込まれる際は、理由とともに金額を備考欄に記載して下さい。

6. 応募者本人の家計状況

- ・選考では、「経済的援助」の必要性についても審査します。公正な選考が行われるよう、正直に申告して下さい。
- ・大学院の入学金と授業料以外は月額に換算して記載して下さい。
- ・扶養者がいる場合は、扶養者分の支出を含めた金額を記載して下さい。
- ・収入と支出の合計を合わせて下さい。
- ・博士課程の学生について、2018年4月以降、当財団の奨学金支給期間中は、企業及び他財団（除く、日本学生支援機構）等から給付型の奨学金を受ける場合は応募できません。
- ・申請中の奨学金は備考欄に記載して下さい。
- ・入学金や授業料等の免除がある場合（含、申請中）は、備考欄に記載して下さい。
- ・アルバイトをしていない場合は、備考欄にその理由を記載して下さい。

9. 持続可能な社会の実現やSDGsに向けて、どのように取り組んでいますか/今後どのように取り組む考えですか。

- ・旭硝子財団は持続可能な社会の実現やSDGsへの活動に重点をおいています。
- ・現在取り組んでいる事があれば、具体的に記載して下さい。
- ・自分が今後取り組みたいと考えていることも必ず記載して下さい。

（願書の7～8、外国人留学生対象の10～12の項目の注意事項はありません）

■研究計画書（指定書式）：2～3枚以内で記載してください

- ・修士課程の方で研究計画が未定の場合は、その旨を記載の上、現時点で取り組みたい課題について自分の考えを記載して下さい。
- ・選考では、「研究テーマ」の内容、取り組みについても評価します。分かりやすく要点を明確にして記載して下さい。

■指導教官推薦書（指定書式）：1～2枚以内で記載してください

- ・2018年4月以降に在籍する大学院の指導教官が推薦書を記載し、署名して下さい。
- ・原則、日本語で記載して下さい（止むを得ない場合、英語での記載も可）。

■学業成績証明書

- ・選考では、これまでの「学業」への取り組みも審査します。直近の1年間程度の成績が分かる証明書を提出して下さい。
- ・直近に取得した学位の成績証明書で、「優」又は「A」以上の比率を欄外に記載して下さい（手書き可）。
- ・直近の学位の成績証明書が海外の大学でも可（英語記載のものを提出して下さい）

■収入に関する証明書（日本人のみ）

- ・選考では、「経済的援助」の必要性についても審査します。
- ・応募者の経済状況や家計を把握するため、願書に記載した家計支持者全員について、直近の年収（税込）総額がわかる家計支持者全員分の収入に関する証明書（市区町村長発行の所得証明書等所得を証明できるもの、源泉徴収票、確定申告書等）を提出して下さい。
- ・無職で所得がない場合は、所得がないことが証明できる書類を添付して下さい。
- ・留学生は収入証明書の提出は不要です。